

行橋まちなかオブジェ・プロジェクト2017

「やはらぎ」

田中等 宮崎県高鍋町/日本

設置場所：アンティークのらくる（福岡県行橋市大橋3丁目11-24）



誰にでも触れることができる”柔らかさ”を石で表現してみました。
実際に手に触れて石の感触を味わってみてください。

行橋まちなかオブジェ・プロジェクト

彫刻家が滞在しながら公開制作

「彫刻によるまちづくり」を目指して、まちなかに気軽に触れることの出来る石の彫刻を公開制作展示する「行橋まちなかオブジェ・プロジェクト」を実施。期間は 2017年 2月 20 日～3月 5日までの2週間、国際的に活躍する彫刻家がシンポジウム形式で行い、6商店街に各1つの彫刻を設置しました。

旧行橋保育園を宿泊できるようボランティアスタッフや、地元企業の支援により改装。6名の彫刻家は、「Hotel Kindergarten」と呼び2週間そこに滞在しながら、行橋赤レンガ館前の広場を会場に公開制作をしました。会場に設置したテントの中で、研削した石埃にまみれながら各々が設置する商店をイメージし石の彫刻を公開で制作。期間中、延べ 1300 人の方々が見学に訪れ彫刻家との交流を図りました。

招待作家：応募選考 (39カ国 114 人)より、アドバイザーを含む6名の彫刻家を決定。

田中等 (アドバイザー：日本) 伊藤三千代 (日本) ダニエル・ジョーンズ (イギリス)
ギョルギ・ミンチェフ (ブルガリア) ビクトル・コバッチ (ベラルーシ) アントネラ・ティオツォ (イタリア)

制作期間：2017年 2月 21日(火)～2017年 3月 4日(土) [2月 27日 休日]

見学時間：午前 10 時～正午/午後 2 時～午後 5 時

制作場所：行橋赤レンガ館前広場 (公開制作)

主 催：行橋市公募彫刻展実行委員会

行橋市・行橋市教育委員会

公益財団法人行橋市文化振興公社

「Yukuhashi 3D」のはじめかた

スマホで飛び出す飛び出す美術館

世界中から公募した素晴らしい彫刻作品を多くの人びとが気軽に親しんでいただける環境をつくりました。このアプリは、彫刻作品を3D画像で楽しむことができます。是非、この感動を体験してみてください。

Step 1 アプリをダウンロード

右記のアプリをスマートフォンからダウンロードする



Yukuhashi 3D



iPhone



Android

Step 2 作品にかざす

アプリを起動し、掲載されている下記マークの付いた作品に、スマートフォンをかざしてください



Step 3 3D画像が出現

3D画像が出現します

